LS-QVLシリーズ マニュアル

LS-QVL/1Dをお買い求めの方へ

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

LS-QVL/1D(以降、本製品と記載します)とは、LS-QVLシリーズ(ハードディスクが4台内蔵されているLinkStation)のハードディスクを1台だけ搭載したモデルです。後からハードディスクを本製品の中に増設して使用することもできます(最大4台まで搭載することができます)。

付属品について

別紙「はじめにお読みください」の「梱包物の確認」をご参照ください。

※本製品には、内蔵ハードディスク増設用3台分の「インチネジ ×12個」が別途付属しています。

仕様について

本製品を梱包している箱に記載しています。
また、弊社ホームページ
(http://buffalo.jp/products/catalog/storage/hd_lan.html)
でも製品仕様に関する情報を提供しております。

※本製品ではハードディスクが1台内蔵モデルなので、重量 約3.5kg、平均消費電力は約25w(出荷時の状態)となります。

本製品の使い方について

別紙「はじめにお読みください」および付属のユーティリティーCDより画面で見るマニュアル「LinkStation設定ガイド」をご参照ください。

セットアップ手順について

別紙「はじめにお読みください」の「セットアップ手順」をご参照ください。

修理について

別紙「はじめにお読みください」うら面「修理のご案内」をご参照ください。本製品の修理をご依頼いただく際は、次のことにご注意ください。

- 増設したハードディスクは、取り外さずにそのままお送りください。
- 増設したハードディスクが他社製の場合、他社製ハードディスクはサポート対象外のため、本製品を修理することができません。あらかじめご了承ください。
- ハードディスク内のデータの保障はできません。あらかじめデータのバックアップを取ってから修理をご依頼ください。
- 修理をご依頼する際には、本製品をどのハードディスクモード(通常、RAID0/1/10/5)で使用していたかを修理依頼票などにご記入いただき製品と一緒にお送りください。修理依頼票は、弊社ホームページ(buffalo.jp)からダウンロードすることができます。

RAIDの設定について

⚠注意 **ハードディスクモードを変更すると、LinkStation内蔵ハードディスクのデータが全て消去されます。RAIDを設定する前にあらかじめデータのバックアップを行ってください。**

出荷時設定では、本製品のハードディスクモードは「通常モード」に設定されています。
モードをRAID0、RAID1、RAID5、RAID10に変更するには、別途内蔵ハードディスクを用意し、本製品に増設する必要があります。

各RAIDによって必要なハードディスクの台数は次のとおりです。

ハードディスクモード	必要な内蔵ハードディスク台数			
	1台	2台	3台	4台
通常モード	○	○	○	○
RAID0	×	×	×	○
RAID1	×	○	○※1	○※2
RAID10	×	×	×	○
RAID5	×	×	○	○

※1 ハードディスク2台でRAIDを構成し、1台は通常モードとなります。
※2 RAID1(ハードディスク2台)を2つ構成します。

また、異なる容量の内蔵ハードディスクを増設し、RAIDモードで使用した場合、使用できる容量は次のようになります。

ハードディスクモード	使用できる容量
通常モード	各内蔵ハードディスクの合計容量
RAID0	一番容量の小さいハードディスクの容量×ドライブ数
RAID1	一番容量の小さいハードディスク1台分の容量(4台内蔵時は1台×2)
RAID10	一番容量の小さいハードディスク2台分の容量
RAID5※1	一番容量の小さいハードディスク3台分の容量
RAID5※2	一番容量の小さいハードディスク2台分の容量

※1 ハードディスク4台でRAID5を構成する場合。
※2 ハードディスク3台でRAID5を構成する場合。

内蔵ハードディスク増設後、はじめて起動したときのハードディスクモードは「通常モード」に設定されています。
モードをRAID0、RAID1、RAID5、RAID10に変更したいときは、**あらかじめLinkStationの設定画面で増設したハードディスクをフォーマットしてください。フォーマット後、設定画面でRAIDを設定します。**設定手順は、付属のユーティリティーCDより画面で見るマニュアル「LinkStation設定ガイド」をお読みください。

内蔵ハードディスクの増設手順は、本紙うら面をお読みください。

次ページへつづく

前ページからのつづき

内蔵ハードディスクの増設について

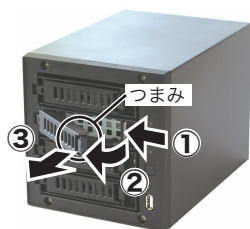
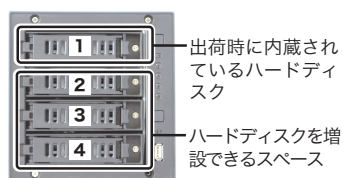
本製品は、1台のみハードディスクが内蔵されています。最大4台まで搭載することができます。容量を拡張したいときは、次のようにハードディスクを取り付けてください。

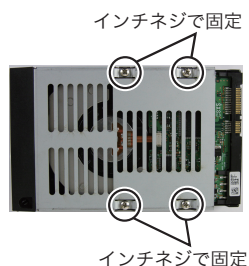
注意

- 本製品は精密な機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行ってください。
- 本製品は約3.5kgの重量があります。落としてけがすることがないよう慎重に作業を行ってください。
- 本体前面には、フロントパネルがマグネットで取り付けられています。本製品を持ち上げるときは、前面カバーの部分をもたないでください。前面カバーがはずれてしまい、落下する恐れがあります。
- 本製品内部の金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行ってください。
- ハードディスクを交換する場合は、本書で指示されていない部分は絶対に分解しないでください。本製品の分解によって生じた故障や破損は、弊社の保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 静電気による破損を防ぐため、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 製品内の4台全てのハードディスクを同時交換した場合は、動作しなくなります。
- 製品内にハードディスクが1台しかない状態でハードディスクが故障した場合、ハードディスクを交換しても動作しません。内蔵ハードディスクの増設は、正常に動作しているハードディスクが1台はある状態で行ってください。
- 内蔵ハードディスク増設には以下のハードディスクを別途ご用意ください。
  対応ハードディスク：弊社製OP-HDシリーズ(カートリッジ付ハードディスク)、
  弊社製HD-HFBS2/3Gシリーズ(カートリッジ無しハードディスク)
  ※動作確認済みハードディスクについては、弊社ホームページ(buffalo.jp)をご参照ください。
- RAIDを構築する場合、同一型番のハードディスクを使用することをおすすめします。

1 本製品の電源スイッチを3秒押し続けて、電源をOFFにして、ケーブル類(ACアダプター含む)をすべて取り外します。

2 マグネットで固定されている前面カバーを手前へ取り外します。

3 ハードディスクカートリッジのつまみを左方向に押しながら手前へ引き、カートリッジを取り外します。

一番上のハードディスクは、出荷時に内蔵されているハードディスクです。増設するスペースは上から2番目、3番目、4番目のトレーとなります。

ハードディスクは上から順(1→2→3→4)につめて取り付けてください。

別売HD-FBS2/3Gシリーズを増設する場合、付属のインチネジ で取り外したカートリッジに別売HD-FBS2/3Gシリーズを取り付けます。

4 別売OP-HDシリーズ、またはカートリッジを取り付けたHD-FBS2/3Gシリーズを手順3で取り外したトレーに差し込みます。

つまみを開いた状態で差し込みます。

5 ハードディスクカートリッジのつまみをカチッと音がするまでつまみを押さえます。

さらに内蔵ハードディスクを追加するときは、上記手順3～5と同様の手順で増設してください。

6 手順2で取り外した前面カバーを元に戻します(マグネットで固定されます)。

7 ケーブル類すべてを元の状態に接続します。本製品の電源スイッチを押して、電源をONにします。

8 認識されているハードディスクの番号のステータスランプが緑色に点灯します。

9 LinkStationの設定画面を表示します。

設定画面の表示手順については、別紙「はじめにお読みください」およびユーティリティーCDより画面で見るマニュアル「LinkStation設定ガイド」をご参照ください。

10 設定画面で増設したハードディスクのフォーマット、共有フォルダーの作成を行います。

フォーマット、共有フォルダーの作成手順については、ユーティリティーCDより画面で見るマニュアル「LinkStation設定ガイド」をご参照ください。

以上で内蔵ハードディスクの増設は完了です。